

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(7/10)

|                          | 評価区分<br>(※) | 評価結果<br>(ⅠとⅡとⅢの平均値) | Ⅰ   | Ⅱ   | Ⅲ    | 総合評価に係る専門家所見(主なもの)  |
|--------------------------|-------------|---------------------|---|---|------|---|
|                          |             |                     | 目標に向けた取組の進捗に関する評価   | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況  | 総合評価 |   |
| 未来創造「新・ものづくり」特区<br>(浜松市) | 正           | 3.5                 | 4.0<br><br>進捗度<br>・産地力の強化<br>113%<br><br>・企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大<br>155% | 3.8<br><br>規制の特例等<br>・市街化調整区域への企業立地に係る農振法・農地法のガイドラインの弾力的運用<br><br>財政支援等<br>・企業立地促進等助成事業(支援利子補給金) 5件<br><br>地域独自の取組<br>・耕作放棄地対策事業<br>等 | 2.8  | <p>・農外から参入した企業の農業経営での発展を支援するのは、よい政策だと考える。</p> <p>・農地面積を見ると、農振除外・農地転用による農地の減少によって、耕作放棄地の再生による農地創出を相殺してしまっている。企業立地を進めるために農振除外・農地転用が進められている印象があり、「農業と工業のバランスある土地利用」という本事業の目的がその通りに達成されているとは考えにくい。</p> <p>・農業と工業とがバランスよく発展しているかどうかを、市の全体の土地利用状況に落として評価してはどうか。</p> |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。